

| 建物基本情報 | | | | | | | | | | | 改修工事の内容 | | | 新築後 年数 | 長期修繕計画との関係 | 用語 |
|--------|------|----|-----|----------|------|----------|--------------|-------|--------|-------|-----------------------|--|--|-----------|----------------|--|
| 建築年次 | 棟数 | 戸数 | 構造 | 階数 地上 | 建築面積 | 延床面積 | 住戸専有面積 最低 | 最高 | 平均 | 工事種別 | 改修工事の詳細 | 必要となった理由 | | | | |
| 75 | 1973 | 2 | 68 | PC | 4 | 450.15 | 1,536.56 | 50.97 | 77.37 | * | 屋上防水改修工事 (外断熱工事含む) | ・妻壁に断熱モルタルを塗布 ・屋根の防水改修を行った際に断熱ブロックを敷設 | 地域柄寒さが厳しく、カビ、結露等を解消するため外断熱工事を実施。 | 13年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 91 | 1973 | 1 | 220 | SRC | 7 | 2,832.00 | 19,241.00 | 60.50 | 85.20 | * | 屋上防水改修工事 (外断熱工事含む) | ・屋上既存アンダーコンクリートを解体 ・アスファルト防水を撤去し、新たにアスファルト防水施工。 上に断熱材を敷き、ブロック敷き仕上とした。 | S60に漏水があり全面ウレタン防水を施工し、H7大規模修繕工事でウレタン防水の劣化を防ぐためトップコート塗布を行ったが、漏水に関して不安があったため、H13全面改修を長期修繕計画に組み込み工事を実施。 | 28年目 | 長期修繕計画に計画されていた | |
| 59 | 1973 | 1 | 40 | RC | 5 | 669.00 | 3,187.00 | 73.23 | * | * | 外壁仕上改修工事 | ・外壁既存塗膜撤去 ・下地調整 ・外壁タイル(95×45)貼り | 塗装の汚れが目立つようになり、資産価値向上のために実施。 | 21年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 89 | 1981 | 1 | 91 | RC | 8 | 986.00 | 5,815.00 | 59.00 | * | * | 外壁仕上改修工事 (外断熱工事含む) | ・外壁の外断熱工事 ・サッシの2重化工事 | 建物調査・診断の結果、建物南全面、妻住戸西外壁面、東西の柱梁に断熱材が施工されていなかった。結露防止のために行った。 | 23年目 | 長期修繕計画に計画されていた | |
| 79 | 1973 | 2 | 68 | RC | 8 | 480.63 | 2,917.49 | 50.97 | 77.37 | * | 外壁仕上改修工事 (外断熱工事含む) | ・北側外壁に遮熱塗料を塗布 ・妻壁に鉄骨の胴縁を組み、断熱材を貼り、サイディング()貼り | 地域柄寒さが厳しく、カビ、結露等の解消のために実施。 | 26年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | サイディング(住宅外壁材) |
| 33 | 1981 | 1 | 37 | RC | 5 | 1,035.02 | 4,333.76 | 54.37 | 138.53 | 78.00 | 耐震補強工事 | 1階ピロティ部の柱に鋼板を巻きコンクリートを流し込み太さを増した。 | 耐震診断の結果、ピロティ式()になっている駐車場の柱の太さを増す必要があると判明。 | 22年目 | 不都合が生じて単独実施 | ピロティ式(建物の1.2Fに壁を作らない構造形式) |
| 57 | 1981 | 1 | 127 | SRC | 8 | 2,398.06 | 9,589.22 | 54.00 | 62.00 | 59.00 | 耐震補強工事 | ・1～2F耐震補強工事 ・1F柱鉄板巻き、1F特殊外付補強、1F鉄骨ブレース補強、1F鉄筋コンクリート壁増設、2F柱鉄板巻き、2F鉄筋コンクリート壁増設 | 管理組合がピロティ構造に不安を感じ、耐震診断したところ耐震補強の必要があると判明した。 | 23年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 80 | 1973 | 2 | 68 | PC | 4 | 450.15 | 1,536.56 | 50.97 | 77.37 | * | E V改修工事 | 既存の鉄骨階段を一旦移設し、仮使用しながら、もとの鉄骨階段の位置に新たに鉄骨階段とエレベーターを新設した。 | 居住者の中に車椅子利用者がいたため、バリアフリー化の要望があった。 | 26年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 81 | 1973 | 2 | 68 | RC | 8 | 480.63 | 2,917.49 | 50.97 | 77.37 | * | E V改修工事 | 既存エレベーターの一部部材(マシベーム、主レール、Wレール、三方枠)を活用しながらエレベーターを更新。 | 築25年経ち調査を行った結果、EV更新時期と判断。予防保全として大規模修繕工事と併せてエレベーター更新工事を実施。 | 26年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 94 | 1976 | 1 | 82 | RC | 5 | 513.44 | 2,377.90 | 17.11 | 23.20 | * | E V改修工事 | ・ロープ巻き上げ機取替え ・加内内装改修 | エレベーターの着床時のゆれが多くなり、2006年の予定を前倒して実施 | - | 長期修繕計画に計画されていた | |
| 49 | 1996 | 1 | 48 | 記載なし | 5 | 1,051.05 | 4,571.64 | 82.60 | 95.58 | * | エントランス改修工事 | ・防犯カメラ設置(各玄関出入口5箇所) ・管理室にデジタルレコーダー設置 | 玄関出入り口に、オートロックが設置されおらず、防犯性を高める必要があった。 | 6年目 | 不都合が生じて単独実施 | |
| 18 | 1997 | 1 | 45 | RC | 5 | 745.99 | 3,218.04 | 63.05 | 68.41 | * | エントランス改修工事 | ・玄関サッシ取替え(扉の開口幅拡幅のため) ・玄関スロープ及び手摺設置 ・通路階段部スロープ及び手摺設置、飛び出し防止用外構スペースガード()取付 | 居住者の中に車椅子利用者がいたため、エントランスホール、道路、通路との段差を解消し、バリアフリー化したいという要望があった。 | 7年目 | 不都合が生じて単独実施 | スペースガード(車・自転車等の進入等を防ぐステンレス製の外構用金物) |
| 65 | 1988 | 1 | 31 | RC | 5 | 499.00 | 2,111.00 | 18.56 | 147.56 | 47.03 | エントランス改修工事 | ・エントランス扉2カ所に電気錠とランダムテンキー()設置 ・管理室にタイマー付制御盤を設置 ・館内外を継ぐ鉄扉2カ所の鍵をホテルロック式に取替え | 駅前に立地しており、夜間に不審者の進入があったため、防犯上の対策を行った。 | 9年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | ランダムテンキー(特定の数字ボタンの磨耗から暗証番号を特定できないように、操作のたびに自照式の数字の位置がランダムに変わるもの) |

| 建物基本情報 | | | | | | | | | | | 改修工事の内容 | | | | | |
|--------|------|----|-----|----------|------|----------|--------------|-------|--------|-------|------------|---|---|------------|--------------|--|
| 建築年次 | 棟数 | 戸数 | 構造 | 階数 地上 | 建築面積 | 延床面積 | 住戸専有面積 最低 | 最高 | 平均 | 工事種別 | 改修工事の詳細 | 必要となった理由 | 新築後 | 長期修繕計画との関係 | 用語 | |
| 11 | 1988 | 1 | 149 | RC | 10 | 1,824.00 | 10,091.00 | 50.00 | 74.00 | * | エントランス改修工事 | ・スロープ設置 ・床、壁美装 ・メールボックス交換 ・照明器具新設 | ・居住者の高齢化が進み、バリアフリー化の要望があった。 ・エントランスのグレードアップを行い、資産価値向上の要望があった。 | 13年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 6 | 1989 | 1 | 20 | RC | 4 | 515.96 | 2,254.32 | * | * | * | エントランス改修工事 | ・風除コンクリート壁新設 ・エントランス階段部分屋根新設 | ・エントランスホールから出た際の突風が問題となっていた。 ・エントランスから共用廊下に通じる屋根がなかった。 | 14年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 46 | 1989 | 1 | 47 | SRC | 8 | 391.66 | 2,505.47 | 25.92 | 64.26 | 42.08 | エントランス改修工事 | ・エントランスに防犯カメラ設置 ・管理室に記録装置、モニター設置 ・上記に伴う付帯電源配線工事 | 居住者から、防犯性能を向上したいという要望があった。 | 14年目 | 不都合が生じて単独実施 | |
| 10 | 1985 | 1 | 93 | RC | 8 | 1,614.00 | 8,060.00 | 55.00 | 82.00 | * | エントランス改修工事 | ・エントランスのオートロック化 ・宅配ボックス設置 ・メールボックス設置 | 居住者から、防犯性、居住性の向上したいという要望があった。 | 16年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 55 | 1982 | 1 | 66 | SRC | 13 | 457.00 | 4,763.00 | 60.50 | 75.10 | 64.63 | エントランス改修工事 | ・エントランスの増築(10㎡)、風除室設置、自動ドア化 ・外構フェンス、外構タイル、花壇改修 ・自転車置場拡張 | 居住者から、マンションの資産価値を向上したいという要望があった。 | 18年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 64 | 1975 | 3 | 521 | RC | 14 | 3,210.52 | 25,593.95 | 19.44 | 64.80 | 43.74 | エントランス改修工事 | ・2Fエントランス扉自動化(風除室を設け2重化) | 居住者から、バリアフリー化の要望があった。 | - | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 5 | 1970 | 1 | 114 | RC | 6 | 1,263.49 | 7,340.70 | * | * | * | エントランス改修工事 | ・壁塗装(石調タイル) ・天井ボード貼替 ・床タイル貼 ・エントランステンパードア()交換 ・管理室スチールドア交換 ・メールボックス、インフォメーションボード、館名板交換 ・照明器具交換 ・ドアハッチ交換 等 | 築30年経ちエントランスの老朽化が進んだため内装及び照明を一新した。 | - | 不都合が生じて単独実施 | エントランステンパードア(強化ガラスを使用、フレームに付属金物を取り付けたドア) |
| 7 | 1990 | 1 | * | RC | 5 | 893.23 | 3,596.49 | * | * | * | エントランス改修工事 | ・メールボックス交換(バスボックス型()のメールボックスへの交換) ・門扉交換(スチール扉からステンレス扉) ・屋根新設(5ヶ所のエントランスに庇屋根を新設) | 雨天時、郵便物を取りに行くのに傘が必要で不便との居住者の声があった。 | - | 大規模修繕と合わせて実施 | バスボックス型(外側から郵便物等を投入し、居住者が内側から取り出せるタイプ) |
| 71 | 1979 | 1 | 29 | SRC | 7 | 326.00 | 1,923.00 | 53.46 | 148.68 | 63.27 | エントランス改修工事 | ・既存壁面、床面のタイル仕上げを撤去し、石張り仕上げとする ・天井を化粧パネルで仕上げる ・既存アプローチ入口廻り改修(床石張り、花壇改修等) | 居住者から、マンションの資産価値を向上したいという要望があった。 | - | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 63 | 1989 | 1 | 43 | RC | 4 | 862.00 | 3,429.00 | 54.81 | 89.39 | 64.55 | 屋外環境整備 | ・中庭の植栽改修 | 1F中庭が新築以来手入れされておらず、陳腐化した。 | 12年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 58 | 1979 | 6 | 160 | PC | 5 | 3,279.64 | 13,403.10 | 72.89 | 76.67 | 72.89 | 屋外環境整備 | ・駐車場(1層2段自走式)新設(78台 161台) | 駐車場が不足していた。 | 14年目 | その他 | |
| 86 | 1980 | 7 | 178 | RC | 5 | 3,936.14 | 15,246.11 | * | * | * | 屋外環境整備 | ・既存平面駐車場と団地内通路の段差を利用して、地上1階地下1階のRC自走式立体駐車場の設置(増設) | 敷地内車路に路上駐車があふれ、火災などの非常時に緊急車両が入構できない状況であった。敷地内に確保できない台数は近隣で管理組合が確保し、駐車料金の差額を補填していたため財政的にも負担となっていた。 | 16年目 | 記載なし | |
| 87 | 1975 | 7 | 180 | PC | 5 | 2,548.15 | 11,825.75 | * | * | * | 屋外環境整備 | ・集会所にテラス物置設置 ・駐輪場、バイク置場改修・増設 ・団地内通路のアスファルト路盤・コンクリート路盤舗装改修 | ・集会所周りに既製品の物置があり乱雑となっていた。 ・自転車置場、バイク置場が不足していた。 ・路盤が傷んでいた。 | 23年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |

| 建物基本情報 | | | | | | | | | | | | 改修工事の内容 | | | 新築後 | 長期修繕計画との関係 | 用語 |
|--------|------|----|-----|----------|------|----------|--------------|-------|--------|-------|----------------------|--|--|------|----------------|--|----|
| 建築年次 | 棟数 | 戸数 | 構造 | 階数 地上 | 建築面積 | 延床面積 | 住戸専有面積 最低 | 最高 | 平均 | 工事種別 | 改修工事の詳細 | 必要となった理由 | | | | | |
| 84 | 1978 | 13 | 400 | RC | 5 | 5,851.52 | 22,442.86 | 54.43 | * | * | 屋外環境整備 | ・駐車場の増設(1戸1台確保) ・団地内の植栽再配置(日照 通風障害のため) ・通路の再配置 ・住棟の入口部分の段差解消 ・自転車置場の設置 | ・団地内に、駐車違反があり 緊急車両が進入できなかつ た。 ・植栽の手入れが行き届か ず、密度があがり日照通風障 害や虫害が発生していた。 | 24年目 | 不都合が生じて単独実施 | | |
| 85 | 1978 | 13 | 400 | RC | 5 | 5,851.52 | 22,442.86 | 54.43 | * | * | 屋外環境整備 | ・自治会館新築(汚水処理場 の跡地活用、1F倉庫、2F和 室、集会室、調理室、事務室、 トイレ) | 狭い集会所があったが、もっと 広い集会所が欲しいという要 求が多かった。 | 24年目 | 不都合が生じて単独実施 | | |
| 70 | 1989 | 1 | 98 | SRC | 10 | 1,410.00 | 9,458.00 | 62.37 | 121.60 | 77.15 | 屋外環境整備 | ・既存駐輪場を撤去し花壇新 設 ・既存エントランス廻り改修 | 資産価値の向上及び外構敷 地の有効活用 | - | 大規模修繕と合わせて実施 | | |
| 67 | 1982 | 4 | 1 | RC | 4 | 286.82 | 1,155.83 | 37.74 | 60.78 | 53.01 | 給水設備改修工事 | ・共用縦管、専有部給水管の 更正(ライニング)工事 | 給水管の劣化調査の結果、屋 外配管に劣化が進行してい た。 | 21年目 | 長期修繕計画に計画されていた | | |
| 41 | 1981 | 1 | 147 | RC | 4 | 1,555.05 | 5,441.75 | 28.83 | 28.98 | 28.90 | 給水設備改修工事 | ・共用部分の給水管及び各戸 水道メーターまでの更新 | 切断検査の結果、給水管等の 腐食が激しく、赤水()が発 生していた。 | 22年目 | 長期修繕計画に計画されていた | 赤水(給水管が腐食し、水に錆が 混ざる状態) | |
| 92 | 1977 | 6 | 161 | RC | 4 | 3,573.18 | 11,970.38 | 59.36 | 77.37 | * | 給水設備改修工事 排水設備改修工事 | ・雑排水管は、配管用炭素鋼 鋼管(SGP 1)使用部分を全 て排水用塩ビライニング管(2) に更新(3) ・給水管は、専有部分の給水 管をライニング工法(4)で更 生(5) | ・雑排水管の漏水が数ヶ所発 生していた。 ・給水管は、更新(取替え)で 計画していたが、劣化調査の 結果更生可能であったため実 施。 | 25年目 | 長期修繕計画に計画されていた | 1 配管用炭素鋼鋼管(配管に最もよ く使われている材料だったが、マンション の設備配管では用途が限定されてい る。修繕周期は15~20年。) 2 排水用塩ビライニング管(管の内 部に塩化ビニルを貼り付けることで腐 食しにくした配管) 3 更新(取替え) 4 ライニング工法(研磨により、配管 内面の赤錆を除去し、エポキシ樹脂を 流し込みコーティングする工法) 5 更生(老朽化した給水管を取り替 えるのではなく新管同様に蘇生させる 工事) | |
| 32 | 1976 | 3 | 123 | RC | 7 | 1,958.98 | 10,393.28 | 40.24 | 82.08 | 66.00 | 給水設備改修工事 | ・引込み給水管更新工事 ・共用給水管更新工事 ・増圧給水ポンプ設置工事 ・高架水槽撤去工事 | 給水管の劣化と、受水槽が既 存不適格(六面点検が不可 等())であった。 | 27年目 | 不都合が生じて単独実施 | 六面点検(飲料水用水槽につい ては、建築基準法施行令により、水槽の 六面(水槽の天井、底、周壁)の保守 点検が容易かつ安全に出来るように 設けること、水槽が独立して設置さ れていること等の基準が定められて いる。) | |
| 82 | 1973 | 2 | 68 | PC | 4 | 450.15 | 1,536.56 | 50.97 | 77.37 | * | 給水設備改修工事 排水設備改修工事 | ・専有・共用部分の給水管、給 湯管、排水管の更新(1) ・受水槽高架水槽方式から増 圧直結給水方式(2)への変 更 | ・給排水管が老朽化していた。 ・受水槽が既存不適格(六面 点検不可能等(3))であり、 衛生上の問題もあった。 | 30年目 | 不都合が生じて単独実施 | 1 更新(取替え) 2 増圧直結方式(受水槽、高架水 槽が不要の方式) 3 六面点検(飲料水用水槽につい ては、建築基準法施行令により、水槽 の六面(水槽の天井、底、周壁)の保 守点検が容易かつ安全に出来るよう に設けること、水槽が独立して設置 されていること等の基準が定められて いる。) | |
| 15 | 1981 | 1 | 44 | PC | 5 | 754.54 | 3,122.03 | * | * | * | 排水設備改修工事 | 住戸内雑排水管及び共用縦 管のライニング工法(1)に よる更生(2) | 住戸内雑排水管及び共用縦 管が腐食していた。 | 22年目 | 記載なし | 1 ライニング工法(研磨により、配管 内面の赤錆を除去し、エポキシ樹脂を 流し込みコーティングする工法) 2 更生(老朽化した給水管を取り替 えるのではなく新管同様に蘇生させる 工事) | |
| 69 | 1972 | 2 | 60 | RC | 5 | 926.00 | 4,329.00 | 59.06 | 73.23 | 66.15 | 排水設備改修工事 | ・共用部分の雑排水管を排水 用ライニング鋼管に更新() | 築30年を過ぎ、使用されてい る材料の耐用年数が経過して いるとの判断から実施。 (既存雑排水管の専有部分は 塩化ビニール管、共用部分は 亜鉛メッキ鋼管で施工されて いた) | 32年目 | 長期修繕計画に計画されていた | 更新(取替え) | |

| 建物基本情報 | | | | | | | | | | | 改修工事の内容 | | | | | |
|--------|------|----|-----|----------|------|----------|--------------|-------|-------|-------|--------------|--|---|------------|----------------|--|
| 建築年次 | 棟数 | 戸数 | 構造 | 階数 地上 | 建築面積 | 延床面積 | 住戸専有面積 最低 | 最高 | 平均 | 工事種別 | 改修工事の詳細 | 必要となった理由 | 新築後 | 長期修繕計画との関係 | 用語 | |
| 27 | 1999 | 1 | 17 | RC | 5 | 346.53 | 1,273.37 | 63.94 | 68.10 | 66.41 | 情報通信設備改修工事 | ・エントランス部に変換装置を設置 ・MDF()まで光ケーブルの引き込み | マンション内で、インターネット利用者が増加した。 | 5年目 | 不都合が生じて単独実施 | MDF(マンション内電話回線の主配線盤) |
| 61 | 1980 | 1 | 510 | SRC | 11 | 5,542.13 | 37,217.22 | 49.20 | 73.60 | 64.00 | 情報通信設備改修工事 | ・光ケーブル(FTTH方式(1))の新設 (電話空配管を利用し、IDF(2)まで敷設し、IDFより専有部分既存第1ボックスまでは専有工事) | マンション内で、インターネット利用者が増加した。 | 24年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | 1 光ケーブル(FTTH方式:各戸まで直接光ファイバーを引込む方式) 2 IDF(ビル内で中間に設ける配電盤) |
| 16 | 1976 | 1 | 98 | RC | 11 | 837.19 | 7,260.24 | * | * | * | 情報通信設備改修工事 | ・地上デジタルアンテナ設置 ・CS110°、BSアンテナ設置 ・増幅器、機器取付工事 ・テレビ端子交換工事 | 地上デジタル放送対応の要望が多かった。 | 28年目 | 記載なし | |
| 72 | 1962 | 1 | 29 | RC | 4 | * | * | * | * | * | 情報通信設備改修工事 | ・既存屋上の個別アンテナの撤去 ・屋上に集合アンテナ(BS,CS,VHF,UHF)の設置 ・屋上に増幅器設置 ・増幅器から各部屋へラダへの配線及び屋外テレビ端子の取付 | 屋上に各戸のアンテナが設置してあったが、老朽化のため落下の危険性が出てきた。 | 41年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 88 | 1975 | 7 | 180 | PC | 5 | 2,548.15 | 11,825.75 | * | * | * | 電気設備改修工事 | 幹線ケーブル引換え工事(30A 60A) | 電気容量が不足していた。 | 23年目 | 長期修繕計画に計画されていた | |
| 74 | 1980 | 1 | 131 | SRC | 14 | 1,030.00 | 7,793.30 | 55.08 | 85.07 | * | 電気設備改修工事 | ・引込開閉器盤内、幹線用分岐ブレーカーの交換 ・電気借室から引込開閉器盤までの幹線交換 ・各部屋への分岐ケーブルに開閉器を設置 | 各住戸の電気使用量が増加し、個別に契約用ブレーカーの容量を増加しようとしたが、電気容量が不足した。 | - | 不都合が生じて単独実施 | |
| 42 | 1994 | 1 | 35 | RC | 5 | 766.73 | 3,385.02 | 82.38 | 82.38 | 82.38 | その他共用部分の改修工事 | ・駐車場全面及び通路部分ロードヒーティング工事 | 寒冷地のため、冬期間の路面凍結による転倒事故防止と、1Fの道路に面するテナントの利便性・安全性の向上のため実施 | 8年目 | 不都合が生じて単独実施 | |
| 53 | 1991 | 1 | 39 | RC | 5 | 822.05 | 3,331.19 | 71.08 | 94.60 | 79.71 | その他共用部分の改修工事 | ・開放廊下、階段踊場の防滑性ビニール床シート敷設 ・屋外階段の遮音、防滑性階段用床材敷設 ・排水溝等リタ塗膜防水 | 夜間帰宅者の足音が響くため、廊下、階段等の消音、遮音対策が必要となった。 | 11年目 | 不都合が生じて単独実施 | |
| 24 | 1987 | 1 | 37 | RC | 4 | 634.43 | 1,898.10 | 42.30 | 46.98 | * | その他共用部分の改修工事 | 内階段内側にステンレス製の手すり設置 | エレベータがなく、階段が唯一の移動手段であり、居住者の高齢化が進んだためバリアフリー化を実施。 | 16年目 | 不都合が生じて単独実施 | |
| 90 | 1982 | 7 | 322 | SRC | 11 | 4,177.00 | 30,604.00 | * | * | * | その他共用部分の改修工事 | ・集会室、管理事務所の内装、照明、空調等の改修工事 ・敷地入口に照明付門柱を設置 ・エントランスホール自動ドア設置、内装・照明の改修工事 | マンションの資産価値向上 | 21年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 47 | 1981 | 1 | 58 | RC | 7 | 731.23 | 3,718.77 | 21.00 | 73.35 | * | その他共用部分の改修工事 | ・マンション西側及び一部南側にロードヒーティング敷設(電気による融雪システム) | 寒冷地のため、冬期間の路面凍結による転倒事故防止と、1Fの道路に面するテナントの利便性の向上 | 22年目 | 大規模修繕と合わせて実施 | |
| 56 | 1981 | 1 | 114 | SRC | 9 | 1,380.00 | 9,079.00 | 66.81 | 90.57 | 71.61 | その他共用部分の改修工事 | アルミサッシ改修工事(バルコニー側) | バルコニー側の前面道路の交通量が増加し、騒音対策が必要となった。 | - | 不都合が生じて単独実施 | |